



No.165 特別号

令和元年 8 月 8 日

議会だより

上松町議会議員公約について

任期満了に伴う上松町議会議員一般選挙の告示が 4 月 21 日に行われ、10 名の定数に対し 10 名の届け出により、無投票当選となりました。

無投票当選のため、上松町議会議員としての公約がわかりにくいとのご意見が寄せられましたので、遅くなりましたが、議会だより特別号として発行いたします。議席順に掲載してお知らせいたします。

上松町議会



上松町議会議員

水澤 まどか

四十九才

活動でたいせつにしたいこと

ケアマネの仕事で大切
にしてきた「小さな声」
「見えない望み」に目と
耳と心を傾ける

心地よい住みかで養生す
れば、なにがあっても回
復に向かう。誰の気持ち
も置いてきぼりにならな
い心地良いまちづくり

町の創生にみんなが
それぞれ最善を尽くし
ているのに明るい兆し
が見えなくて、ちょっと
あきらめムード…?

不安や不満の奥にこそ「や
ってみたい」「こんなことで
きるよ」「応援するよ」の力
がある
安心な話し合いの場で形に

あげまつが大切にしてく
いた「自然」「昔ながらの暮
らしの知恵」「福祉のここ
ろ」ってすてき!

こどもたちと一緒に温故
知新、「あんな町で暮ら
したい」あげまつを多世
代で一緒に作ろう



上松町議会議員

茂 澄 統一

私の公約

子どもたちが大きな夢を持って目をキラキラ
させて育ち、お父さんお母さんたちが笑顔で
活き活きと暮らし、おじいちゃんおばあちゃん
たちが安心して生活できる、そんな上松町を
みなさんのお知恵を借りながら、行政と共に作
ってゆきます。



上松町議会議員

森 茂 雄

60 歳

上松町の再生宣言

“町民第一の社会を実現”

一、政策の提案

◇生命と財産を守る防災計画の見直しと買い物や通院困難者の生活を支援する町営循環バス運行の実現

二、行政の監視

◇住民提出の意見要望を停滞させない運用と監視、住民サービス低下を招く巨額投資の抑制と財政健全化の評価

三、福祉・教育・産業の発展

◇デジタル技術を活用した高齢者見守りサービスや社会的弱者を支援する行政サービスの開拓と事業化の展開

◇文化・教養・デジタル社会に根ざした社会教育講座の開催と町民参加型の子供たちの学習支援及び高校改革の推進

◇自然エネルギー・環境・商工農林業の連携と雇用の創出

本課題を政治力と技術力で政策を練り上げ、町民と決める！

*行政、議会は町民の為に、町民が主役、町民の声や思いを届けます。

*町政に対し良いものは良い、駄目なものは駄目と言います。

私の公約

- 1、元気な町づくりに努めます。
- 2、子供と高齢者が安心して暮らせる町づくりを進めます。
- 3、空き家対策に全力します。
- 4、産業振興に人力し働く場の確保を目指します。
- 5、上松町の自然環境を活かし滞在型観光の町を目指します。
- 6、町の宝、赤沢、寝覚めの再開発を強く進めます。



山本 勝己



上松町議会議員

鎌倉 寿恵

6
2
才

『あなたの声を 届けます』

一期目を終え痛感した事は「日々のくらしの中にこそより良い行政が必要である。」との点です。

前期、就学祝い金支給時期の改善・保育園お盆休園の改善・AEDの設置等々を提言し生活に密着した視点で活動してきました。

地域の皆様の課題に、一つ一つ向き合い皆様のパイプ役として、よりよい町・地域作りの為に尽力いたします。



よこ

い

いさむ

横井 勇

四年間のご支援ありがとうございました

引き続きのご支援を心からお願い申し上げます

住んでいる人たちが上松に

“住み続けたい”と思える

まちづくりに取り組みます

Uターン・Iターンして上松に

“帰りたい・住みたい”と思える

環境づくりに取り組みます



上松町議会議員

むらかみ

まさあき

村上 眞章

(六十九歳)

私は、上松町の現状（少子高齢化・過疎化）を衷心より憂いてお
ります。町の衰退が顕著に進む今、立派な役場庁舎が完成しても人
口減少に歯止めが掛からなければ何の意味も有りません。
人口減少は非常事態であり「最優先課題」として取り組む覚悟です。

公約

- 一、人口問題解決に取り組みます。（町づくりの基本は人）
- 二、常に行動する議会に心がけます。
- 三、住民福祉の向上を目指します。
- 四、安全・安心の町づくりに努めます。
- 五、行・財政改革を推進します。

ふるさと上松の未来のために

皆様のご支援、よろしくお願い申し上げます。



上松町議会議員

やまむら

ひろき

山村 博喜

六十四才

引続き上松町の活性化に取り組めます

夢と希望が持て活気溢れる町創りを目指します
町活性化の基礎である少子高齢化対策に取り組めます
出産祝い金制度の増額を提案し出産・子育ての負担
改善を図りました。
観光産業の充実を計り町活性化につなげます
活性化策として私は観光産業の充実をより一層図つ
て参ります。
年々減少している赤沢への入込客の増加を図り町観
光の核となり寝覚ノ床・木曾駒山麓等の観光連携強
化と充実を推進します。
中山間整備事業においては圃場整備はもとより、
小水力発電・グランドの整備等を推進します。
有害鳥獣駆除においては農家の皆様が作付け意欲を
失わないよう引続き取り組みます。
スポーツを通じ町活性化をより一層推進します。
スポーツ環境の充実・そしてスポーツ人口の拡大に
向けて取り組みます。

美しきふるさと、いい町、上松を元気に！
美しきふるさと、いい町、上松を世界に！

少子高齢化、人口減少、限界集落。

マイナスイメージはもう聞きあきた！
この町に夢はないのか？希望はないのか？

私は上松町の財産である「森林鉄道」が
世界遺産に登録される事を目標に行動
したいのです。

福祉、商工業、農林業、観光業など課題のある中
町民の皆様が幸福に生活できる様に頑張ります。
ご支援を賜りますように、よろしくお願い致します



上松町議会議員
鈴木 紀夫
すずき のりお

私は懸命に努力します。
今までの経験を活かして子供や孫たちに、
繋げていけるまちづくりをしたい！

第四には議員報酬・定数・通年議会等、若者が参加しやすい議会のあり方を皆さんといっしょに考えていきたいと思っています。

第三には免許返納者や家からバス停まで行くのに不便を感じている方々の地域交通のあり方を考えます。

第二には医療・教育は木曽郡全体で考えていく問題と捉え広域連携を考えていきます。

第一には観光でなりわいが出来るまちづくりを考えます。自然・名所・文化・歴史を点から線そして面へと魅力を引き出せる道を探り、実現できるように頑張ります。

上松町も少子高齢化をむかえ、人口減少、過疎化の問題を抱えている。しかし、今いる皆さんで年老いても動けるうちは働くという事を目的として『やれない理由を考えるより、どうすれば出来るか考える。』を合言葉にまちづくりをして行きたいと思っています。

『自慢できる まちづくり』



上松町議会議員
永井 嘉男
ながい よしお
六十二才